

RX600およびRX200シリーズ用 E2データフラッシュドライバ M3S-DATFR1 V.1.02 Release 00へのリビジョンアップのお知らせ

RX600およびRX200シリーズ用E2データフラッシュドライバ M3S-DATFR1をV.1.01 Release 00からV.1.02 Release 00にリビジョンアップしました。本ドライバは、無償で提供します。

M3S-DATFR1の詳細は、以下のURLをご参照ください。(6月20日更新予定)
<https://www.renesas.com/products/software-tools/software-os-middleware-driver/filesystem-device-driver/data-flash-driver--m3s-datfr1.html>

1. リビジョンアップ内容

1.1 使用ブロック数の計算シートを提供

データサイズおよびデータ数を入力すると、使用ブロック数を算出することができる計算シートを同梱しました。E2データフラッシュドライバに割り当てるブロック数の見積もりに活用できます。

1.2 不具合改修

E2データフラッシュドライバの初期化関数を実行すると、誤ったアドレスへのアクセスが発生する場合があります問題を改修しました。

該当バージョン:

E2データフラッシュドライバ V.1.00 Release00 ~ V.1.01 Release00

内容:

マイコン購入後などで、E2データフラッシュ領域が一度もフォーマットされていない状態で、E2データフラッシュドライバの初期化関数を実行すると、誤ったアドレスへのアクセスが発生する場合があります。

発生条件:

以下の条件をすべて満たす場合に発生することがあります。

- (1) マイコンのE2データフラッシュ領域が未フォーマットの状態 (注)
- (2) E2データフラッシュドライバの初期化関数を実行した場合

注: マイコン出荷時は全ブロックがブランク状態のため、本問題の対象です。なお、フォーマット完了状態であれば、初期化関数実行時に本問題は発生しません。

2. 入手方法

以下のWebページで「お申し込み方法」を参照してください。

<https://www.renesas.com/products/software-tools/software-os-middleware-driver/filesystem-device-driver/data-flash-driver--m3s-datfr1.html>

お申し込みの前に、上記Webページにある「提供条件」を必ずお読みください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.